

徳島大学 国際センターニュース

<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/>

No.15

2011.3

特集 海外留学 ファーストステップ

最近、日本人学生の海外留学が大きな注目を集めています。その理由としては、日本人海外留学者数の減少に見られる「学生の内向き志向」、それに、海外での安全管理などを挙げることができると思いますが、本学の国際化を推進していくためには学生の海外派遣は是非とも欠かせないものであり、今後も積極的に推進していく必要があります。

派遣留学の推進には様々な方法が考えられるでしょうが、今回のニュースレターで取り上げる1ヵ月未満～12ヵ月の短期留学は、費用や卒業・就職という点で学生にとって比較的影響が小さいと考えられることから、再び海外留学に目を向けさせるための「呼び水」になると期待されています。そこで、今回は、国際センターが実施している短期海外語学研修を含む短期留学を中心に最新情報をレポートすると共に、学生を海外に派遣する際の注意点についてまとめてみました。

(1) 短期海外語学研修

学生の語学力向上や異文化体験のために、毎年、春期（2月～3月）と夏期（8月～9月）の約1ヶ月間、学生を海外に派遣するものです。春期はオークランド大学 English Language Academy（ニュージーランド オークランド市）に、夏期は復旦大学国際交流学院（中国 上海）と南イリノイ大学 Center of English as a Second Language（アメリカイリノイ州）に学生を派遣しており、オークランド大学と南イリノイ大学の研修に関しては、毎年約10名程度の学生が参加しています。

研 修 費 用 概 算	往復航空運賃、研修費、滞在費、企画旅行手数料などを含む 復旦大学国際交流学院 ……約25万円 南イリノイ大学CESL ……約45万円 オークランド大学ELA ……約40万円
奨 学 金 など	4週間以上の研修に対しては学生後援会から支援金 (学部学生：3万円、大学院生：5万円) が各参加者に提供されます。
単 位 認 定	共通教育外国語科目（英語・中国語）、総合科学部中国語専門科目への単位認定が可能

慶北大学 夏休み韓国文化体験プログラム

韓国にある交流協定校、慶北大学校が日本の協定校に所属する学生を対象に実施する一週間程度のプログラムです。韓国語授業、韓国文化体験、歴史的文化遺産の見学等が含まれており、短期間で充実した文化体験ができるプログラムとなっています。また、日本語のわかる韓国人チューターがプログラム期間中の様々な活動をサポートしてくれますので、非常に安心できるプログラムです。「外国の大学生と直接触れ合いたい」という日本人学生には非常に良い

プログラムであると思います。



募集人数

2名(プログラム参加費免除対象)
*免除対象者以外は自費

- 滞在費、渡航費などは基本的に自己負担となります。

2010年度 短期海外語学研修体験記 — 南イリノイ大学 CESL 研修

医学部医学科1年 酒井 洋介

"I am happy to hear that you are doing well and I am curious to what views have changed, could you explain what you have decided ? "

先日、このような文面のメールを受け取りました。研修先で知り合った、ある SIU の学生からでした。僕が以前、「SIU での研修以来、自分の考え方が変わった。新しい目標もできた」と書いたことがあり、彼は「具体的に何が変わり、何を決意したのか」を尋ねてきたのでした。真面目な性格同士で気が合ったのか、彼と僕はすぐに親しくなりました。帰国前には彼の寮に招いてもらい、日本とアメリカの文化について、語り合ったりもしました。

しかし、研修を決意した当初、僕は自分が内向きな性格であり、まして英語でコミュニケーションができるだろうかと、不安を感じていました。それでも、英語を学びたいという目的意識を持ち、自分の価値観をはっきりと主張したことで、彼のような共感できる人に会うことができました。やみくもな積極性よりも、確かなスタンスを持ったことが、真っ直ぐな自己表現につながったのだと思います。

日本好きのホストファミリーや、様々な国籍・年齢のクラスメートたちに囲まれ、毎日のコミュニケーションは、とても濃く、新鮮なものでした。そして、そのコミュニケーションを通し、日に日に僕は、自分の価値観と彼らの価値観の違いに気づかされていきました。国際交流の場は、英語を学ぶことだけでなく、「英語を通じた学び」を僕に経験させてくれたのです。

冒頭の質問への返信に、こう書きました。

"I learned that I must admit that my idea is not always of the majority, and I need not to follow the majority at all times. I started to make and act on my own values. I have to say that everything has being affected and changed from my experience there."

研修から持ち帰った多くのものは、これからも僕の一部として、成長の土台になってくれると考えています。



2010 年度 短期海外語学研修体験記 ― 慶北大学夏休み韓国文化体験プログラム

総合科学部人間文化学科 1 年 齊藤 芙美

私たち徳島大学やその他日本各地の大学から 16 名が参加し、8 名の韓国人学生を交えて一週間研修を行いました。

私がこの研修に参加した動機は単純で、「せっかくの大学の夏休みなんだから、どこか安くて楽しそうな海外に行きたいな」でした。

韓国の学生たちは外国人だと思えないほど上手に日本語を話せたために、コミュニケーションをとるのは難しくありませんでした。そのため、毎日研修が終わった後には一緒にごはんを食べたり、遊びや買い物に行ったりするほど仲良くなりました。

研修では、本当にいろいろなことをさせてもらいました。あいさつなどの日常会話やハングルの読み方を習ったり、韓国のコミックバンドの曲をみんなで歌ったり、韓国の国技であるテコンドー体験や、韓国料理教室など……。授業で習った言葉を実際に街に出て使ったりして、会話できた時は本当に嬉しかったです。世界遺産である「海印寺」や「仏国寺」への観光も、韓国の学生たち彼ら自身がその場所について調べ、彼らの言葉で案内をしてくれたことが印象に残っています。ずっと彼らと一緒にいたことで、韓国への文化、言語に対する関心がとても強くなりました。この研修に参加するまで、私は韓国に特に興味があったわけでもなく、ハングルも全く読めず、K-POP という言葉すら知りませんでした。だからこそ、この研修は本当に新鮮で、毎日新しいものに出会い、知り、本当に幸せな時間を過ごすことができました。なにより、心から一緒にいて楽しいと思える、最高の友達もできました。次に会えたときは韓国語で話ができればいいなと思って、今は自分で韓国語を勉強中です。そして研修から半年が経った現在も、Face book や Skype で連絡を取り合っています。年末にはそのうちの 3 人と日本で再会しました。彼らと国境を越えて友達になれたことを心から嬉しく思い、これからも交流を続けていきます。手軽に参加できる研修なので、みなさんも研修に参加してこの感動をぜひ味わってみてください。



(2) 交 換 留 学



徳島大学の交流協定校に 3 ヶ月～12 か月間学生を派遣する制度です。交換留学の場合、派遣先大学で通常授業を受講することが多いので、授業についていけるだけの十分な語学力と専門分野に関する基礎知識が必要になります。

交換留学の最大のメリットは、「派遣先での授業料が免除される」という点にあるかと思いますが、授業料免除を受けるためには徳島大学に授業料を納付することが必要となります。従って、交換留学の場合、派遣学生が負担するものとしては、徳島大学への授業料以外では、往復航空運賃、現地での生活費（食費、アパート賃貸料などを含む）、海外留学用保険といったものが挙げられます。

留 学 費 用 概 算*1	往復航空運賃、滞在費、海外留学用保険を含む ・欧 米 圏……年間 約 150 ～ 180 万円 ・中国・韓国……年間 約 70 ～ 90 万円
奨 学 金 な ど*2	留学生交流支援制度（短期派遣）奨学金、学内奨学金への応募が可能
単 位 認 定	所属部局の専門科目への単位認定が可能

* 1 徳島大学への授業料は含まれていません。滞在費には、大学寮費（またはアパート賃貸料）、食費、光熱費、交通費などが含まれています。

* 2 留学生交流支援制度（短期派遣）奨学金、学内奨学金については、国際課にお問い合わせください。

慶北大学 International Education Program (IEP)

慶北大学が提供している交換留学生向けの特別プログラム（3～10ヶ月）です。このプログラムでは、殆どの授業（「韓国の歴史」、「韓国経済の今」、「環境問題」など）が英語で提供され、希望すれば韓国語の授業を受講することもできます。また、このプログラムには、日本やアジアからだけでなく、ヨーロッパ、オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド）、北米、中東などからも、多くの学生が参加しており、多彩な文化を体験する上でも非常に有意義なプログラムだと言えます。

「韓国で英語ねえ…」と考える方もいらっしゃるかもしれませんが、授業のほとんどが英語で行われている事、多彩な国から来ている留学生と共に学べる事、費用面でも非常にリーズナブルであることを考えれば、本学の日本人学生にとっては非常に有意義なプログラムであると思います。



授業料

3名まで免除

（徳島大学への授業料は免除されない）

滞在費

基本的に自己負担

奨学金

留学生交流支援制度（短期派遣）奨学金、学内奨学金、韓国政府奨学金などへの申請が可能

その他

韓国語能力は不問

（ただし、ある程度の英語能力は必要）



2010 年度 交換留学体験記 —— 学部交換留学 武漢大学

総合科学部人間社会学科法律経済コース 石原 史

私は2009年9月から2010年7月まで中国湖北省にある武漢大学（留学生教育学院）で語学留学をしました。武漢大学を選んだ理由は徳島大学と提携があるというのもありましたが、2009年3月に大学の交流事業でこの大学を訪れていたからです。もともと留学してみたいという気持ちがあった私にとって実際に中国の大学を見学できたことは良いきっかけとなりました。実際に留学してみると、短期間の訪問では分らなかったことや体験できなかったことなどが多く、留学に来てよかったと思いました。



授業はすべて中国語で行われ、行った当初はほとんど中国語が聞き取れなかった私はかなり苦労しました。ほかの国から来たクラスメートとも中国語で話さなければならぬので、コミュニケーションをとるためにもリスニングと会話の勉強が必要不可欠でした。初めは武漢の辛い食べ物に慣れなかったり、日本とのギャップが激しすぎてなかなか受け入れられなかったりなど、勉強以外にも苦労したこともたくさんありました。しかし、これが中国・武漢という地なのだということが受け入れられてからは、自分の中でも当たり前になり、日本に帰ってきてから逆に中国とのギャップに驚いたほどです。

留学中、様々な土地へ旅行に行きました。一番印象に残っているのは2010年2月に東北部の吉林省・長春と黒竜江省・ハルビンに行ったことです。武漢から車で約25時間かかり、これだけ長い時間車に乗るというのも日本ではなかなか体験できないことですが、それ以上に長春・ハルビンの寒さが印象に残りました。長春は旧満州国の首都だったということもあり、日本とよく似た建物があってどこか懐かしい感じがしました。ハルビンには氷でできたとても美しい彫刻があったりと、武漢では体験できないことも多く、旅行によって土地それぞれの特色が見られてよかったと思います。

留学によって得られるものは語学力だけでなく、一生大切にしたい友人や経験など、その土地に行かなければ出会うことができないもののことの方が多いということが今回の留学で実感することができました。これからはこの経験を糧にして、また武漢で得た中国語を活かして仕事がしたいと思います。最後に、留学を決意する一番大きな理由となった交流事業に参加する機会を与えてくださった先生方と、留学に関わってくださった先生方に感謝したいと思います。



2010 年度 交換留学体験記 — 慶北大学 International Education Program (IEP)

総合科学部人間社会学科 3 年 奥野 啓輔

こんにちは。私は総合科学部の人間社会学科欧米言語コースに所属している三年の奥野啓輔といます。韓国のデグというところにある慶北大学に、交換留学生として一年行ってきました。留学の目的や苦労した事、学べた事をここで述べる事で今後留学を志望している方々のお力になればと思います。

英語専攻の私がなぜ韓国留学に至ったかといいますと、奨学金をいただきながら英語と韓国語という二つの外国語を学習できる素晴らしいプログラムに参加できる機会に恵まれたからです。もともと大学時代になにか大きなことに挑戦したいと考えていたため決断にはあまり時間がかかりませんでした。

授業内容は、基本的には英語で行われる幅広い分野の講義から興味のあるものを受講します。私は英文学、英語教育の講義を中心としていました。経済学、歴史なども受講可能です。また韓国語で行われる韓国語の講義もあり、言語と学問が同時に学べます。しかし、苦労した事もたくさんありました。留学当初、韓国語を一度も学んだことのない私が、韓国語で韓国語を学ぶというのはどうも無理な話です。ホームシ



ックもあり、最初の一か月は大変苦労したと記憶しております。しかし、毎日韓国語に触れ、コミュニケーションをとるうちに、どんどん慣れてゆき三カ月後にはある程度理解する事が出来るようになっていました。帰国直前には、韓国人と韓国語だけで会話出来るほどに成長しました。これは大きな自信になりました。韓国語だけでなく、英語の講義、英語圏からの留学生との交流で英語も十分に学ぶ事が出来たと確信しています。

学べる事はこれだけではありません。

異文化理解、海外から見た日本とは、韓国料理がいかに美味しいかなど数えきれません。留学で学べる事は人それぞれです。それがどのようなものであれ、きっとあなたの視野の幅を広くしてくれるにちがいありません。いままで育った環境から離れ、まったく知らない異国の地で生活するのも悪くないですよ。

◆ 国際センターでは、短期海外語学研修、交換留学以外にも、相談・支援サービスを提供しております。お気軽にご相談下さい。

● 国際課国際交流係 川人 公美／常三島キャンパス 4 号館 1 F
TEL.088-656-7082 ✉ ryugakuk@jim.tokushima-u.ac.jp

● 国際センター 准教授 坂田 浩／新蔵キャンパス日亜会館 2 F 坂田研究室 (月～金)
TEL.088-656-7199 ✉ kobayasi@isc.tokushima-u.ac.jp

● 蔵本キャンパス 留学生支援室／蔵本会館 2 F (火曜 午後)

安全な海外派遣を行うために…

アメリカでの同時テロ以降、海外における安全・危機管理は非常に大きな問題になっていますが、基本的には「出国前の準備を十分に行っておく」ことでかなり対応することができます。ここでは、「最低限これだけは…」という項目について少しだけ解説をしておきます。

(1) 外務省「海外安全ホームページ」で渡航先の情報をチェック

外務省の海外安全ホームページ (<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>) では、治安が激しく悪化したり、災害、騒乱、その他の緊急事態が発生したり、その危険性が高まっていると判断された場合には、その国（あるいは地域）に対して以下の4種類の「危険情報」を発出しています。

十分注意してください	渡航にはさほど支障はないレベル
渡航の是非を検討してください	渡航の是非について検討を要するレベル
渡航の延期をお勧めします	渡航の延期を具体的に検討するレベル
退避を勧告します。 渡航は延期してください。	派遣国からの退避ならびに渡航の延期を実施するレベル

一般的には、危険情報レベルが「十分注意してください」、「渡航の是非を検討してください」であれば、渡航には支障がないと判断される場合が多いのですが、それ以外の「渡航の延期をお勧めします」、「退避を勧告します」が発出されている場合には、渡航の延期・中止や帰国について具体的に考慮する必要があります。



(2) 海外旅行用保険に加入する

短期間の海外出張などの場合に「クレジットカードに海外旅行の特約があるから大丈夫」と言われる方もいらっしゃるようですが、クレジットカードに附属している海外旅行特約は、補償限度額（特に病院での治療に関する補償）などの点で十分とは言えない場合が多くあるようです。特に、海外で緊急手術を受けることになった場合などには、日本では考えられない額の治療費を請求されることもありますので、是非、海外旅行用保険に加入しておくことをお勧めします。

なお、クレジットカードの海外旅行特約と海外旅行用保険の両方に加入していた場合、補償限度額は両保険を合算したものとなり、双方に保険料の請求を行うことができます。

(3) 渡航の方法について検討する

✓ 航空券の購入方法について

最近ではオンラインで格安航空券を購入される方も多いようですが、安全管理という面では、旅行業者などを通じて航空券を購入された方が良いでしょう。例えば、渡航先で大規模な自然災害などに巻き込まれた場合、3ヶ月以上の滞在者に関しては「在留届」を基に安否確認が行われますが、それ以下の短期滞在者に関しては旅行業者などが保管する購入記録などを基に安否確認の作業が行われます。オンラインで格安航空券を購入した場合には、購入者がどこで航空券を購入したかを把握するのが難しいこともあり、調査に手間取る場合も多いようです。

少し手間はかかるかもしれませんが、航空券を購入される場合には、旅行業者をご利用になった方が良いでしょう。

✓ 学生を派遣する場合

学生を海外に派遣する場合にも安全管理上の配慮が求められる場合が多く、非常に注意が必要です。

例えば、これまで海外研修などで学生をグループで海外に派遣する場合は、「旅行業者に航空券などの発行を依頼する」形式（いわゆる「手配旅行」形式）で派遣することが多かったのではないかと考えられますが、この形式では、派遣期間中に発生した事件・事故に対する対応は、派遣者自身（つまり大学など）に求められる場合があります、注意が必要です。

現在、国際センターで展開している短期海外語学研修は、航空券や保険だけでなく、研修企画自体を旅行業者に依頼する「受注型企画旅行」という形式で事業を展開しています。

この受注型企画旅行においては、

- ➡大学などからの要望に応じて旅行業者側が企画を立案・実施する
- ➡派遣期間中に発生した事件・事故に対する初動時の対応は、基本的には旅行業者を中心に行う

ことから、大学側としても非常に安全な選択肢と言えるでしょう。

多くの研究室が大学院生などを海外の学会などに派遣しているかと思いますが、安全の面から言えば、「受注型企画旅行」という形式で学生を派遣する方が望ましいのかもしれませんが…。



新規交流協定校

2010 年度には以下の 3 校と学部間協定が締結されました。

南台科技大学 Southern Taiwan University (台湾) (工学部との部局間協定)

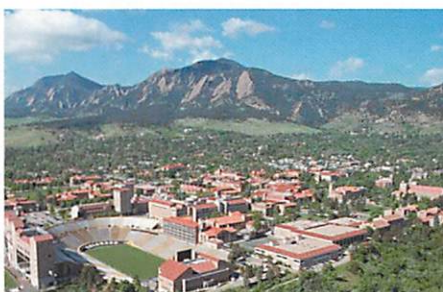
1969 年の創立。台湾永康市に位置する私立大学である。工学部、商学部、人文社会学部、デジタルデザイン学部が設置されており、学科 25、修士課程 12、博士課程 3 から構成されている。教職員約 800 人、学生約 18,000 人（うち留学生約 170 人）が在籍している。徳島大学工学部と南台科技大学工学部との間で 2010 年 3 月に学術交流協定が締結された。



[▶ 大学ホームページ <http://engwww.stut.edu.tw/>]

コロラド大学ボルダー校 University of Colorado at Boulder (アメリカ) (工学部との部局間協定)

1876 年の創立。ロッキー山脈の麓、アメリカ合衆国ボルダーにある、州立の総合大学である。地元の人々の間では "CU" という愛称で親しまれている。約 3 万人もの学生が在籍し、3 人のノーベル賞受賞者を輩出したことでも知られる優秀な教授陣の揃う大学で、全米の州立大学ランキングで常に上位に位置するリサーチ大学のトップ校である。



科学・工学・ビジネス学・法律学・芸術・人文学・教育学・音楽などがあり、学部課程 85・修士課程 70・博士課程 50 のコースがある。キャンパスにはイタリアルネッサンス様式の 160 もの赤レンガの校舎が立ち並び、The Campus As a Work of Art という Thomas Gaines 氏を書いた本で、「全米で最も美しいキャンパス」の 4 位にランキングされている。

[▶ 大学ホームページ <http://www.colorado.edu/index.html>]

大理学院 Dali University (中国) (薬学部との部局間協定)

大理学院は 2001 年 10 月、大理医学院と大理師範高等専門学校の合併により設立された。教員約 1,200 人、学生約 15,000 人が在籍し、臨床医学院・基礎医学院・公共衛生学院など、16 の学院で構成されている。徳島大学薬学部と大理学院薬学院との間で、2010 年 3 月に学術交流協定が締結された。



[▶ 大学ホームページ <http://www.dali.edu.cn/>]

2011 年度国際センター行事予定

前 期	実施月日	行 事 名 称
	4 月	日本語研修コース（春期）オリエンテーション
		日本語研修コース開講式
		前期 English Chat Room 開始
		新入学留学生ガイダンス（常三島地区・蔵本地区）
	5 月	全学日本語コース（春期）開講
		国際交流サロン開始（5 月、6 月、7 月、9 月実施予定）
	7 月	日本語研修コース（春期）研修旅行
		全学日本語コース（春期）終了
		前期 English Chat Room 終了
	8 月	日本文化体験交流会：伊方発電所見学
		短期海外語学研修（アメリカなど）
	9 月	日本語研修コース（春期）修了式

後 期	実施月日	行 事 名 称
	10 月	日本語研修コース（秋期）オリエンテーション
		日本語研修コース（秋期）開講式
		後期 English Chat Room 開始
		新入学留学生ガイダンス（常三島地区）
		全学日本語コース（秋期）開講
		多文化体験交流会（於：工業会館）
		国際交流サロン開始（10 月、11 月、12 月、1 月、2 月実施予定）
	1 月	スキー旅行
		後期 English Chat Room 終了
	2 月	全学日本語コース（秋期）終了
	3 月	日本語研修コース（秋期）修了式
		短期海外語学研修（ニュージーランド）
		第 8 回徳島大学国際展開推進シンポジウム
		外国人留学生交流懇談会



発行日：2011 年 3 月 31 日

発 行 徳島大学国際センター
住 所 徳島県徳島市新蔵町 2 丁目 24
 徳島大学地域・国際交流プラザ
 （日亜会館）2 階
Tel. 088-656-7082
<http://www.isc.tokushima-u.ac.jp>